

令和 7 年度 しいの実ハウス 地域連携推進会議 議事録

日時	令和 7 年 5 月 20 日（火） 10：00～11：20	場所	しいの実ハウス
出席者	おおい町いきいき福祉課・担当者、中区民生委員、利用者家族・保護者、利用者・本人、所長、主任、支援員	司会	支援員
		議事録	主任

1. 挨拶 所長より

2. 施設見学（所長 説明）

施設内ご案内と利用者や支援員の普段の動きや食事提供、設備等の説明を行う。

3. 自己紹介

上記、出席者のとおり

4. 議題

○地域連携推進会議について（所長 説明）

- ・利用者地域との関係づくり、地域の人への施設、利用者の理解促進、サービスの透明性や質の確保、」利用者の権利擁護を目的に、今年度より義務化となり実施することになった。会議構成員は利用者、ご家族、地域関係者は必須、市町担当者は任意となっている。本日は、上記メンバーを構成員とし開催させていただく。今回の会議で情報共有・意見交換を行い地域との関係づくりや事業所環境、事業運営状況を確認いただく。外部の目を入れることで閉鎖的になりがちな環境を改善し、質の高い支援やより良い運営に繋げていきたいので、ご意見を頂きたい。

○施設概要説明・利用者日常生活の様子について（主任 説明・パンフレット参照）

- ・名田庄保護者会保有の物件を増改築し H24 開所、今年で 13 年目となる。男性 4 名女性 2 名の 6 名が利用されている。30 代から 40 代の平均年齢 43 歳。生活スケジュールは 6 時半起床、朝食、身支度を行い 9 時 20 分頃各事業所へ、16 時ごろ帰寮され入浴、夕食を済ませ 21 時ごろ就寝。食事は調理するか食材注文を選択できるが、重度利用者の為若狭事業所で調理したものをパウチで届けていただき、世話人が温め盛付けを行っている。夕食時の手伝い、洗濯物畳み、布団準備等自分で出来る事はやってもらう。非常時対策として年 6 回避難訓練を実施、いきいき館が避難所となっている為、事前連絡後いきいき館まで避難した。訓練の際持ち出し物品の確認を行っているが、期限切れ等の再確認が必要。
- ・家賃内訳は、22,000 円、食事代、水道光熱費となり約 56,500 円となっている。週末は帰省、月 1 回の週末を開所し希望制で利用して頂いている。日中事業所との兼務もあり、全日開所となると人員不足。

◎質疑応答

<民生委員より>

- ・障害福祉については、家族だけで対応するには負担が大きく、地域との関係づくりは今後でも大切になって来ると思っている。教員経験から幼少期から知っている方も多く、区内で出会うと嬉しく感じる。将来を考えていくとなると、行政の方とのかかわりも大切になってくるので、一緒に考えていきたい。

<おおい町より>

- ・職員人員不足については他法人でもよく耳にする。そのために外国人雇用や資格取得にかかる費用の助成などを行っている。また、非常時対策として備品補助なども行っている。

<保護者より>

- ・もともと親亡き後を見据えて立ち上げたグループホーム。今は宿直スタッフとして月 1 回程度関わっているが、この先保護者が関われなくなっていく場合を考えると若手職員の人材確保が必要だと思う。有資格の福祉職員の中では、高齢福祉分野の勉強をした方が多いため障害者についての理解不足を感じる。

○運営状況について（所長 説明）

- ・支援力向上の取り組み、虐待防止・苦情解決の取り組み、事故やヒヤリハット、BCPや感染症対策の取組等について説明する。

◎質疑応答

<民生委員より>

- ・苦情を減らす為に、利用者が区の行事への参加で関りを深めていくとよいと考える。
また、広報を作成し区民に配布することでどのような施設で何をしているかを知ってもらえると思う。区の行事は、4月お花見会、11月秋祭り、3月神社の行事がある。

<保護者より>

- ・以前災害訓練時、いきいき館へ避難する事があったが、避難所の区分けがなく障害者がパニックになる心配がある事をお伝えした。今後も対策を考えていただきたい。

5. その他

<民生委員より>

- ・おおい町の民生委員として12~13人の委員が、日中施設と合わせて見学をさせてほしい。
日程は7月上旬の火曜日。9時半からの予定。詳細は後日連絡するので対応お願いしたい。

<所長より>

- ・今後の地域連携推進会議の開催について、年1回以上開催の為、来年度の同時期を予定する。